

足立区議会
自由民主党

討論者



杉本 ゆう
委員

長引くコロナ禍は区民、区内事業者に大きな影響をもたらしており、オミクロン株の急拡大により、コロナ対策へのさらなる対応が急務である。

このような中、令和4年度予算は「守り・支え・未来へ繋ぐ、足立区をもっと元気に」と名付け、ワクチン3回目接種等の感染症対策の強化、「CO2ゼロ宣言」の実現に向けて一歩を踏み出す等、未来へ繋ぐ予算であり評価をする。

また、@レシートde90周年事業や商連プレミアム商品券発行事業等の施策は、さらなる検討・対策が必要という課題は残るが、消費喚起策としては一定の評価をする。

なお、本予算特別委員会において、我が党委員が指摘した基金活用に関する区民へのさらなる周知、契約制度改革、あだちか

足立区議会
公明党

討論者



昭二 いくら
委員

我が党は、ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議し、これ以上生命が失われないよう、一日も早い平和的解決を求める。

区は、令和4年度予算を「守り・支え・未来へ繋ぐ、足立区をもっと元気に」と名付け、感染症対策を継続・強化するとともに、コロナ禍で我慢を強いられた区民、区内事業者が希望を見いだせるような予算編成を行った。

新型コロナウイルス感染症から区民を守り、区内経済を支えるための経費の計上加え、我が党が本年1月、区長に要望書を提出し実現した生活困窮者世帯等への区独自の臨時給付金60億円を盛り込んでいる。

また、ワクチンの3回目接種の実施、生活困窮者世帯等への区独自の臨時給付金、綾瀬駅前交通広場整備用地取得等による道

ら臨時給付金の区内消費喚起、困窮者施策展開、高校生の医療費無償化、区有施設・区民サービスの周知徹底、宅配ボックスの設置補助、空気清浄機の増設、コロナで亡くなった方の遺族への対面や葬儀に関する情報提供、夕焼け放送・災害放送の改善、災害対策の再検討、シティプロモーション、ウクライナへの人道支援、ストリートピアノ設置や芸術鑑賞体験の継続実施、トラック協会による交通安全教室、学校行事のオンライン配信、足立区の文化・歴史に対する理解を深める地域教育、社会科副読本の内容充実と副教材の開発、教員のメンタルケア・働き方の改善、教育委員会による足立スタンダード授業動画の作成、町会・自治会の法人化手続き支援、戦没者追悼式の開催、働く人にフォーカスした人材育成、あだちつ子歯科健診支援等、様々な提案及び要望事項については、本予算の執行と今後の区政運営に確実に反映するよう強く要望する。

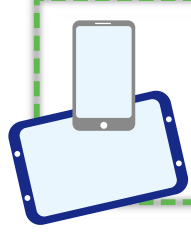
路新設事業等、区民を守り、支え、未来へ繋ぐ事業を展開するとしている。

我が党は、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業を国、都と連携し、区とともに推進してきた。この度、2カ所の踏み切りが解消し、安全性・利便性が高まる。今後はさらなる竹ノ塚駅周辺のまちづくり推進を期待する。

なお、共産党提出の修正案は、今後の中長期的な区政運営を考慮した案とは思えず、修正案には到底賛成できるものではない。

最後に、本委員会では我が党の委員から指摘し、要望した新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種対策、水害を含む災害への取り組み、契約制度改革、SDGsのさらなる推進、高齢者見守り施策の充実、障がい者へのタクシー券・ガソリン代助成の増額、脱炭素化対策、学校跡地の活用、高校3年生までの医療費無料化、文化・芸術鑑賞振興策、学力向上施策、産業展示会「あだちメッセ」の再構築等、様々な提案にも真摯な対応を要望する。

特別
委員会の
討論(要旨)



予算特別委員会の録画映像を区議会ホームページでご覧いただけます。右の2次元バーコードからスマートフォン・タブレットでも視聴できます。
※令和4年10月に開会予定の決算特別委員会についても、YouTubeでインターネット生中継を行いますので、ぜひご覧ください。



※予算特別委員会委員の名簿と委員会の審査結果は8面に掲載しています。

日本共産党
足立区議会

討論者



秀和 きたがわ
委員

新年度予算は、わが党が改善・実施を求めた事業が盛り込まれたが、後手後手置き去りの予算と言わざるを得ない。無症状者への検査は東京都任せ、子ども施設での抗原検査キット配布や高齢者施設での定期的PCR検査の拡充は不十分、なんでも相談窓口は1年以上前から求めてきたものである。後手後手だったことを率直に認めて反省し、次に進む姿勢がない。高齢者への紙おむつ支給要件は経費や対

象件数を削減、高齢者が使える防災ラジオ配布も区長は拒否、新年度は公立保育園定数を201人削減し、5人に1人が「保育園落ちた」の通知を受け取った。その一方で、優先度が低い事業を併せて進めている。

わが党は、「新型コロナウイルスからのち・暮らしを守る」「暮らし・医療・福祉を守り応援する」「気候危機に立ち向かう環境・災害対策の充実」「不要不急の事業先送りや中止・削減、外部委託の撤回」の4本を柱とした予算修正提案を行った。お金の使い方を切り替えることを強く求める。国民健康保険特別会計は、新年度の保険料値上げに歯止めをかけようとした区の姿勢

勢と、当初予算に保険料値上げ分は反映されていないことを総合的に勘案し賛成する。後期高齢者医療特別会計は、保険料は年間4千円近い値上げ、今年10月から窓口負担も2割へと引き上げられ、高齢者に負担のダブルパンチとなってしまうため認められない。一般会計の同時補正予算は、デジタル教科書実証実験の費用に疑問もあるが、中小企業融資事業継続に必要な経費も盛り込まれており、反対するものではない。区に対しては、何よりも区民のいのちと暮らしを守る施策を最優先とすることを改めて強く求める。

足立区議会
立憲民主党

討論者



修平 おくら
委員

令和4年度予算は、「守り・支え・未来へ繋ぐ、足立区をもっと元気に」と銘打ち、さらなるコロナ対策、区内経済の活性化、災害対策の施策充実、エリアデザインと学校跡地のプロジェクト、区政90周年等、区民がコロナの先にも目を向けて希望を見いだせるよう目指したものである。

特徴的な事業として、国の非課税世帯等臨時給付金の対象外となる特定の世帯に対する区独自の10万円の給付金支給、高齢者

や障がい者等の避難行動要支援者の個別避難計画書作成の推進、福祉避難所の支援体制の強化、高校中退者支援や中退予防策の強化、医療的配慮が必要な方のための精神科医等による相談支援窓口の新設、学校教育のICT化のさらなる充実、脱炭素に向けたロードマップの策定、エリアデザイン

の推進等が示された。財政調整普通交付金、特別区民税は企業業績の回復や経済活動の再開、失業率の改善傾向等から増加した。一方で、長引くコロナ禍やロシアのウクライナ侵略による、ガス・石油・食料価格の上昇、金融市場の混乱、世界経済への影響等、予断を許さな

足立区議会
議会改革を全力
で推し進める会

討論者



かこ たか
委員

新型コロナウイルス感染者の増加やロシアによるウクライナへの軍事侵攻によって社会全体に閉塞感が漂っている。今こそ人と人との絆を強固にし、新しい環境、可能性を生み出すアクションが必要である。

今後、高齢化率が上昇していく中、社会保障予算の確保と地方財政措置を的確に行うことが必要である。

令和4年度は区政90周年の節目である。現在の危機的状況を突破し、明るい希望が

見いだせる計画的な予算編成を求める。以前から提案していたことが新規事業として生み出された。宿泊型産後ケアが新支援事業として行われ、3歳児健診でカメラ型の屈折検査機器の導入整備が開始される。

さらに、4月から通常学級における特別支援教育の視点を取り入れたユニバーサルデザイン教育がモデル校5校で行われる。

これらの事業が令和4年度予算に組み込まれたことは大変評価できる。今後は周知啓発と、多くの方々への支援となる仕組み作りを強く要望する。

執行機関には、多様化する区民ニーズを捉え、国や都の補助事業の活用と実効性あ

る施策を展開し、制度の谷間にいる人たちに手を差し伸べる支援策と、国をリードする制度構築の強力な推進を切に要望する。本委員会での質疑をまとめて、次のことを指摘する。

宿泊型産後ケア事業について、中国残留帰国者支援について、区政90周年と文化芸術推進について、足立区版ユニバーサルデザイン教育について、障がい者への差別のない社会づくりについて、発達支援に課題のある青年期・成人期に向けての支援体制の構築について、色覚の多様性について。

本委員会での議論の内容を十分念頭に置き執行されることを強く要望する。